

期待する子ども像	夢中で遊び学び、関わりながら自己発揮する子ども
----------	-------------------------

交流活動「あきのおもちゃであそぼう」	令和7年12月1日（月）9:40～10:40
--------------------	------------------------

場所：松茂小学校 体育館	参加者：松茂小学校1年生（45名）、松茂幼稚園5歳児（24名）、まつしげ子ども園5歳児（15名）、ひまわり保育園5歳児（14名）
--------------	--

ねらい	幼	<ul style="list-style-type: none"> 身近な秋の自然物に興味をもち、自分なりに工夫したり、友達と意見を出し合いながら遊びに取り入れたりして楽しむ。（関わる力） 友達や1年生と一緒に秋のおもちゃ遊びを楽しむ。（チャレンジする力） 自分の思いや考えを、友達や先生、1年生と伝え合う。（伝え合う力）
	小	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然と関わり、特徴や四季の変化に気付いたり、不思議さを感じたりする。（単元を通しての関わる力） みんなで楽しめるものを想像し、身近な自然物を使い、工夫して遊びを創り出す。（単元を通してのチャレンジする力） 相手や目的に即して関わり方や伝え方を工夫する。（伝え合う力）

事前の学び	幼	<ul style="list-style-type: none"> 園庭での遊びやお散歩で、秋の自然と触れあう。 身近な秋の自然物を使って様々な物を作ることを楽しむ。 秋の歌を歌ったり、手遊びをしたりする。
	小	<ul style="list-style-type: none"> 身近な秋のものを使ったおもちゃや工作を工夫して作る。 年長児に楽しんでもらえるように計画し、準備したり、手直しをしたりする。（生活科）

◎(保育者と小学校教員) ★(幼児・保育者) ◆(小学校教員)		
活動内容	指導上の留意点 (小学校)	保育者の援助 (幼・保)
計画立案時	◎子ども一人一人の様子や、配慮が必要な児童について具体的に確認し合い、交流の計画を立てる。 ◆前もって、交流活動のカードやポスターを1年生と作り、歓迎の気持ちをもてるようにする。	
1 顔合わせ会をする。(10分) ①みんなであいさつをする。 ②みんなで手遊び歌を歌う。 「しあわせなら手をたたこう」	◆児童が自分たちで進行できるように声かけをする。 ◆めあての確認をし、活動目的を意識できるようにする。	◎一年生の話を聞けるように見守る。 ★グループ活動が不安そうにしている幼児がいる場合は近くで声をかける。
あきのおもちゃのおみせで、ともだちとたのしくあそぼう。		
2 秋のおもちゃであそぶ。(40分) <u>(前半30分)グループタイム</u> <ul style="list-style-type: none"> 活動の確認をする。 グループで、おもちゃのコーナーを回って遊ぶ。 遊んだ後は、カードにシールを貼ってもらう。 	◎コーナーのサポートをする。 ◆自信がない児童には、励ますように、前向きな声かけを行う。 ◆壊れてしまった際は、修理の道具を使って直すようにする。	◎グループで声を掛け合ったり、協力したりしている姿を認めたり互いに親しみがもてるようにする。 ◎配慮が必要な子どもに対して、両職員が声を掛け合い、安心して取り組めるように

<p>【おもちゃのコーナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング・どんぐりたたき ・こま ・わにたたき ・ロケット ・どんぐりさがし ・けんだま ・どんぐりおとし ・めいろ ・しゃてき ・クラフトコーナー ・どんぐりころころ <p>(後半 10 分)おかわりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりで、行きたいお店に行ってみる。 <p>3 本時のふりかえりをする(10 分)</p> <p>① 感想を発表する。</p> <p>② 全員で歌を歌う。 「にじ」 2 番まで</p> <p>③ 次の交流について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 関わり合いの少ない活動をしているグループに対し声かけをしたり、一緒に遊んだりして関わり合いがもてるようにする。 ◆ 1 年生が繰り返し説明したり、ゆっくり話したり伝え方を工夫していることを褒める。 ◆ 年長児の反応や状況に合わせて、伝え方や内容を変えたり、繰り返し伝えたりして、一緒に楽しめるように声をかける。 ◆ 楽しかったことや頑張ったことを具体的に発表できるように、1 年生をサポートする。 ◆ 様子が思い浮かぶような声で歌うよう呼びかける。 ◆ 第 3 回目の交流会は体験入学であることを、幼児との交流会に対し、意欲をもたせる。 	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 幼児が主体的に質問したり、じっくり取り組んだりしている姿を認めていく。 ★ グループで意見が食い違うときは、話を聞き、解決できるように努める。 ★ 行きたいところが見つかりにくい年長児には、一緒に回ったり、必要に応じて声かけをしたりする。 <p>◎ 年長児の発表に共感しながら一生懸命に聞く姿を褒める。</p> <p>◎ 1 年生の良かったところを伝え、成長を認め合えるようにする。</p> <p>◎ 次の交流への期待につながるような声かけをする。</p>
---	---	---

評 価	幼	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達や 1 年生と一緒に秋のおもちゃ遊びを楽しんでいたか。(チャレンジする力) ・ 自分の思いや考えを、友達や先生、1 年生に伝え合いながら楽しんでいたか。(伝え合う力・関わる力)
	小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年長児の反応や状況に応じて伝え方を変えたり、分かりやすく伝えたりして、進んで交流しようとしていたか。(伝え合う力)

成果・改善	幼	・
	小	・

【準備物】

- (小) ・マイク ・プロジェクター ・修理道具 ・コーン ・シール
(幼) ・スタンプカード ・上靴 ・水筒 (かご) ・班のシールを胸に貼る